

産業建設常任委員会委員長報告

(平成27年10月2日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、第1号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

総務費では、一般財団法人自治総合センターからの助成を受けて実施する防犯灯設置経費、また、今年度創設された公衆街路灯LED化助成金の増額補正。

農林水産業費では、小豆の生産振興に必要な農業機械等の導入を助成する地域営農担い手条件整備事業経費、また、シカによる農林業被害の緊急対策として、狩猟によりシカを捕獲した者に奨励金を交付する鳥獣対策事業経費の増額補正。

商工費では、本市と宇治市の特色ある観光資源を活かした観光連携を推進するため、地域住民生活等緊急支援事業経費の増額補正。

土木費では、市道及び河川の機能維持及び改修経費の増額補正。

災害復旧費では、昨年8月の台風11号及び本年7月の台風11号により被害を受けた農業用施設や、道路及び河川等の復旧事業費の増額補正であります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、指摘要望事項として、

鳥獣対策事業に関して、禁猟区における駆除などの対応にも、今後、十分配慮されたいこと。

また、本市と宇治市との観光連携に関しては、国の補助金を活用して実施しようとするものでありますが、本市が所要額を計上する以上、その事業実施に当たっては、より積極的な事業展開を図り、効果的な広域観光につながるよう努められたいこと。

以上2点を指摘要望するものです。

次に、第49号議案、市道路線の認定及び廃止については、開発に伴うものなど12路線を認定し、4路線を廃止しようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

広域連携による観光振興に向け
宇治市と観光連携、国の地方創生補助金を活用し事業展開へ

・観光推進経費

480万円増額

本市と宇治市の特色ある観光資源を生かした観光連携事業を推進

「質疑」

問 宇治市も同様に予算立てをしているのか
また、どのような目標を立てているのか。

答 国の地方創生に関する補助金を活用して事業展開を図るものであり、本市が予算を計上した。

交通アクセス向上を生かして、宇治の平等院と湯の花温泉を結ぶツアー企画や海外に向けたメディアPRの連携など、それぞれの観光協会が主体となって相互利益を図る取り組みを進める。
今回の連携をはじめ

として、他自治体との広域的な取り組みをさらに進めていきたい。

「指摘要望事項」

今回、本市が所要額を計上する以上、より積極的に事業展開を図り、効果的な広域観光につなげられたい。

農林業被害の軽減に向け、緊急的にシカの捕獲強化対策を実施

・鳥獣対策事業費

322万円増額

狩猟登録者に対し、捕獲頭数に応じて奨励金を交付。

「指摘要望事項」

禁猟区における駆除などの対応にも、今後十分配慮されたい。



両市の観光協会が協定を締結
(7月10日 平等院(宇治市))

公衆街路灯LED化多くの地域要望に応えるため助成金増額

・街路灯LED化助成金

1254万円増額

今年度創設したLED化助成金制度について、各自治会から当初見込100灯をはるかに上回る約1300灯もの要望があったことから、今回、補助対象灯数を追加。

産業建設常任委員会の意見交換会

「広域連携による滞留型観光の推進」をテーマに、議会・行政・観光協会の3者が意見交換



(7月27日 全員協議会室)

本年7月の京都縦貫道全線開通を受けて、常任委員会では、執行部、亀岡市観光協会と意見交換会を開催しました。現在の広域観光推進の取り組みや今後の方向性について、それぞれの立場から意見を交換し、本市観光振興につなげる機会としました。

<主な意見>

「京都丹波」エリアの中核として、南丹市、京丹波町と連携した積極的な広域連携の推進
京野菜・京菓子の食材生産地として農産物の観光商品化、体験型の農業観光やスポーツ観光の推進
観光客の滞留化による観光消費の増大など